

## 令和 4 年度認知症初期集中支援チームの活動状況について

## 1 事業概要

## (1) 目的

認知症初期集中支援チーム（以下「支援チーム」という。）は、介護保険法に基づく地域支援事業として、認知症の人や認知症が疑われる人及びその家族に早期に関わり、必要な医療サービスや介護サービスにつなげることを目的に配置している。

## (2) 支援チームの配置場所

- ア 東部地域：東部高齢者はつらつセンター
- イ 中部地域：中部高齢者はつらつセンター
- ウ 五日市地域：五日市はつらつセンター

## (3) チーム員の構成

- ア 東部地域：専門医、保健師及び主任介護支援専門員 各 1 人
- イ 中部地域：専門医、看護師及び主任介護支援専門員 各 1 人
- ウ 五日市地域：専門医、看護師及び社会福祉士 各 1 人

※ 専門医（1 人）については、各地域を兼務する。

※ 地域連携型認知症疾患医療センター（あきる台病院）と連携するため、チーム員会議に相談員 1 人、派遣を依頼している。

## (4) 活動状況

ア 相談受付後、医療職と福祉職・介護職がペアで初回訪問を実施し、利用者基本情報シート・アセスメントシートを作成し、課題等の整理を行う。

イ 課題等を整理し、支援チームの対象者と判断した場合は、認知症初期集中支援チーム連絡票により高齢者支援課に報告を行う。

ウ その後、必要に応じて支援・訪問を行うとともに、毎月 1 回開催している、チーム員会議において、収集した情報とアセスメント内容により、支援方針、支援内容、支援頻度等を決定する。

なお、チーム員会議は、3 チーム合同で行い、新規事例以外の事例も経過報告し、今後の支援方針を検討するとともに、支援の終了についても判断している。

2 活動実績（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

担当地域		東部	中部	五日市			
チーム員会議数		11回（定期チーム員会議11回）					
対象者実人数		4人	8人	6人			
対象者分類	① 認知症診断なし	2人	5人	2人			
	② 医療サービスを利用していない	2人	2人	1人			
	③ 介護保険サービスを利用していない	1人	3人	4人			
	④ 認知症診断有るが介護サービス中断中	—	—	—			
	⑤ 認知症症状顕著で対応苦慮	—	1人	—			
支援・相談回数	① 訪問	13回	34回	11回			
	② 電話	30回	270回	73回			
	③ その他	2回	0回	11回			
終了件数		2件	4件	5件			
終了後の対応		CMへ引継	1件	CMへ引継	5件	CMへ引継	3件
		医療機関	0件	医療機関	1件	医療機関	0件
		包括へ引継	1件	包括へ引継	1件	包括へ引継	2件
		その他	0件	その他	0件	その他	1件

※対象者分類及び終了後の対応は、複数に該当する事例有り。